笑顔幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り　令和２年９月29日

応援ありがとうございました

９月２０日。秋晴れの中とは言えませんでしたが、これまで延期になっていた運動会が行われました。

『いつもとは違う運動会』と思っていたのは自分だけだったのかも知れません。運動場には子どもたちの元気な姿が見られ､応援もいつもと同じ､子どもたちの頑張りはいつもの学校生活そのものでした。

保護者の方々にとっては、事前の検温や人数制限などで応援の面ではご不便をおかけしました。また当日の入場に際しては、リボンの着用などいろんなことをお願いしましたが、ご協力のおかけで運動会を実施することができました。

本当に有り難うございました。

競技では午前中だけとなったことやなるべく接触を避けるような種目となりました。

写真は６年生による『借りない競争』です。防災教育との関連から、クジを引き、避難用品を自分たちで準備してから、ゴールするという種目となりました。「地震です…地震です…」のコールでダンゴムシポーズをとるのも、種目の工夫となりました。

できることをできるようにとの思いからの運動会でしたが、各学年工夫された種目があり、十分楽しくできたのではないかと感じていますが、保護者のみな様はどうだったでしょうか。

あっ　危ない！！…

先週から秋の交通安全週間が始まっています。保護者のみな様には、街頭指導でお世話になっております。

子どもたちが毎日安全に登校できるように声をかけていただいていることと思います。

子どもたちの登校の仕方はどうでしょうか。ルールを守って安全に気をつけて登校していることと思ってはいますが、何か気になることがありましたら学校まで連絡をお願いします。

数日街頭指導に立たせてもらいましたが、下校時において気をつけて欲しいことがあります。学校の東門から図書館に下りる道での出来事です。

地域の方から連絡をいただいたのですが、周りを気にせずに飛び出す児童がいると言うのです。学校が終わり、緊張から解放され、家への帰り道を急ぐのか…『あっ　危ない！！』と何度か危険を感じたことがあると言うのです。「何かあってからでは遅いので…」ということで連絡をいただきました。

警察の方からは注意喚起のためにストップマットの設置もしてもらい、新聞にも載っていましたが、何かイベントだけで終わっているような気がします。

長期休業になる前には、子どもたちに「～していたら…」とならないように気をつけてくださいと言うのですが、地域の方から連絡をいただいたときに思ったのは、本当に大事なのは日頃から気をつけていく必要があると言うことです。

その時だけ…と言うのはなかなか難しいもので、いざという時には、日頃の生活がそのまま出てくると言うことだと思います。

回りくどい言い方をしましたが、普段から気をつけていないといざという時には、その行動はとれません。今一度、交通安全について考えてみましょう。

普段からの行動と言えば、１０月９日には慶應義塾大学の大木聖子先生に来ていただき、「南海トラフ地震へ今できること」と題して講演をしていただきますが、防災への取り組みも日頃から気をつけていないとできないことだと思います。

連絡が遅くなりましたが、防災について考えてみるきっかけにしてほしいと思います。１人でも多くの保護者の方に参加していただけますようよろしくお願いします。

心を届けるあいさつを

交通安全街頭指導の時に思ったことですが、しっかりあいさつできている人は少ないですね。

街頭指導に立ってくれている方が「おはよう。」「おはようございます。」と声をかけてくれるのですが、なかなかあいさつを返すことができていないのが現実です。

小さい声でもあいさつが返ってきたり、頭を下げてくれたりする人もいます。ある意味いろんな形であいさつを返すことができたらまだ良いのですが、そのまま通り過ぎていく人もいます。

学校の先生には、返してくれる人がほとんどですが、地域や保護者、警察の方にもあいさつが返らないのは本当にさみしいものです。

学校に来校された方からは、「清水小学校の児童は元気の良いあいさつができて気持ちいいですね。」と言われますが、習慣にはなっていないように思います。

あいさつには５つのパワーがあります。「感謝を伝えられる」「存在を認めていると言うことを示せる」「仲良くなるきっかけになる」「印象の良さを与えられる」「緊張をほぐせる」です。

これからは笑顔を忘れず､相手の目を見ながら､伝わるようなボリュームであいさつができるようになって欲しいですね。あいさつで気分が悪くなる人はいないと思います。

笑顔であいさつ、一歩を踏み出そう！！